

問1 日本の歴史における文化的な出来事を説明した記述のうち、室町時代の「東山文化」の特色を正しく説明しているものはどれですか。 (2015年 大分県公立入試 類似)

1. 足利義政が慈照寺を建立し、禅宗の精神を背景とした質素で落ち着いた趣を尊ぶ文化が広まった。
2. 千利休が茶の湯を大成し、大名や豪商たちが豪華な城郭や障壁画を好む華麗な文化が発展した。
3. 井原西鶴が浮世草子を執筆し、元禄年間に上方を中心とした町人の生活を反映する文化が栄えた。
4. 足利義満が金閣を建立し、公家文化の優雅さと武家文化の力強さが融合した文化が形成された。

問2 後醍醐天皇が行った「建武の新政」は、武士たちの強い不満を買い、短期間で失敗に終わりました。その背景にある、新政の政治的な特徴として最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 静岡公立入試 類似)

1. 恩賞の配分において貴族を重用し、武士の土地所有権を保証する審理を軽視した。
2. 全国の武士に過度な軍役を課し、モンゴル軍の再来に備えた防備を強要した。
3. 有力な守護大名の権限を強め、地方武士が天皇に直接意見を言う機会を奪った。
4. キリスト教の布教を認め、仏教を重んじてきた武士や寺社勢力と対立した。

問3 室町時代、凶作や重い負担に苦しむ近江（現在の滋賀県）などの農民たちは、生活の困窮を背景に団結し、高利貸しを襲撃するなどの行動を起こしました。こうした農民たちが、幕府に対して「借金の帳消し」を認めるよう求めて出した法令の名称として、最も適切なものを選びなさい。 (2022年 滋賀公立入試 類似)

1. 徳政令
2. 分国法
3. 御成敗式目
4. 武家諸法度

問4 室町時代の「管領」という役職の仕組みについて、その特徴を背景とともに説明したものとして正しいものはどれか。 (2020年 岩手県公立入試 類似)

1. 将軍の権力を絶対的なものにするため、特定の家系ではなく能力のある下級武士から選ばれた。
2. 鎌倉時代以来の伝統に基づき、天皇が任命する最高位の武官として軍事指揮権のみを行使した。
3. 有力な守護大名による連合政権的な性格を持ち、有力家系が交代で就任することで勢力の均衡を図った。
4. 江戸時代の幕藩体制を先取りし、地方の守護を監視するために将軍直属の密偵としての役割を担った。

問5 室町時代に組織された「座」の仕組みと、その影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 三重公立入試 類似)

1. 公家や寺社に税を納める代わりに、特定の商品の販売を独占する権利を得た。
2. 幕府が直接管理を行い、全国の主要な市場で自由な取引を推奨した。
3. 外国との貿易を独占するため、有力な大名たちが共同で出資して設立した。
4. 農村の指導者たちが集まり、年貢の徴収を請け負うために結成された。

問6 北海道上ノ国町にある勝山館跡は、1457年に起きたアイヌの人々と和人の戦いの後に、和人側の拠点として築かれました。この戦いの指導者と時代背景について述べたものとして正しいものはどれですか。 (2021年 北海道公立入試 類似)

1. コシャマインが指導者となり、室町時代に和人と戦った
2. シャクシャインが指導者となり、江戸時代に和人と戦った
3. アテルイが指導者となり、平安時代に朝廷軍と戦った
4. コシャマインが指導者となり、明治時代に開拓使と戦った

問7 室町幕府において、政治の実務を統括するために設けられた役職について説明します。この役職は、足利氏の一族である有力な守護が交代で就任し、将軍の補佐役として幕政を支えました。この役職の名称として正しいものを選びなさい。 (2020年 岩手県公立入試 類似)

1. 管領
2. 執権
3. 老中
4. 若年寄

問8 室町時代の文化の特色について、特に慈照寺（銀閣）にある「東求堂同仁斎」に代表される建築様式とその背景を説明した文として、最も適切なものを選びなさい。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)

1. 禅宗の影響を受け、畳を敷き詰め、床の間や違棚、ふすま、障子などを設けた書院造が確立され、のちの日本家屋の原型となった。
2. 宋から伝わった大仏様という力強い建築様式が採用され、民衆の力強さを象徴する巨大な木造建築が各地に建立された。
3. 貴族の住居様式である寝殿造を簡略化し、外観に金箔を貼ることで、武士の権力と浄土への憧れを視覚的に表現した。
4. 仏教の無常観に基づき、質素な隠遁生活を好む文人の精神を反映した、壁のない開放的な庵のような建築様式が流行した。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 足利義政が慈照寺を建立し、禅宗の精神を背景とした質素で落ち着いた趣を尊ぶ文化が広まった。	東山文化は、8代将軍・足利義政の時代に京都の東山を拠点として発達しました。この文化は、それまでの華やかな文化とは一線を画し、禅宗の考え方に基づく、静かで控えめな美しさを追求しました。慈照寺の銀閣はその象徴であり、現代の茶道、華道、庭園、そして建築様式である書院造など、日本文化の伝統的な形の多くがこの時期に形作られました。
問2	<b>答え 1</b> 恩賞の配分において貴族を重用し、武士の土地所有権を保証する審理を軽視した。	後醍醐天皇は、それまでの幕府が行ってきた武士の慣習を無視し、貴族を優遇する政治を行いました。特に、武士にとって最も重要な「土地の所有権（所領）」に関する裁判や恩賞の決定が、天皇の恣意的な判断や貴族中心の基準で行われたため、倒幕に協力した武士たちの間に急速に不満が広がりました。
問3	<b>答え 1</b> 徳政令	鎌倉時代末期から室町時代にかけて、生活に困窮した農民たちが団結して起こした行動を土一揆と呼びます。農民たちは、当時の有力な自治組織であった「惣（惣村）」を基盤に連携し、借金の破棄（徳政）を認める「徳政令」の発布を幕府に強く要求しました。こうした動きは、単なる暴動ではなく、法的な権利を求める政治的な側面も持っていました。
問4	<b>答え 3</b> 有力な守護大名による連合政権的な性格を持ち、有力家系が交代で就任することで勢力の均衡を図った。	室町幕府は、足利尊氏が各地の有力武士を「守護」として認めることで成立した組織であり、将軍独裁ではなく守護大名の連合体としての側面を強く持っていました。そのため、中央政治においても特定の有力守護（細川・斯波・畠山）が「管領」を交代で務めることで、有力者同士のバランスを取りながら政治を運営する仕組みが取られていました。
問5	<b>答え 1</b> 公家や寺社に税を納める代わりに、特定の商品の販売を独占する権利を得た。	座は、特定の有力者に税（役銭）を支払うことで、他の商人の参入を拒む「独占権」を獲得していました。この仕組みは中世の商業の安定に寄与しましたが、一方で自由な経済活動を妨げる要因にもなり、後に織田信長らによる「楽市・楽座」で廃止の対象となりました。
問6	<b>答え 1</b> コシャマインが指導者となり、室町時代に和人と戦った	1457年に起きた「コシャマインの戦い」は、室町時代の出来事です。これに対し、シャクシャインの戦いは1669年（江戸時代）、アテルイの抵抗は8世紀末から9世紀初め（平安時代）の出来事であり、それぞれ時期や背景が異なります。勝山館はこの戦いの反省から、和人側の統治・防衛拠点として整備されました。
問7	<b>答え 1</b> 管領	室町幕府では、将軍の補佐役として「管領」が置かれました。これは鎌倉幕府において北条氏が独占した「執権」とは異なり、細川氏・斯波氏・畠山氏という3つの有力な守護の家系（三管領）が交代で務める仕組みとなっていました。守護の強大な力を幕政に取り入れることで、幕府の権力基盤を安定させる狙いがありました。
問8	<b>答え 1</b> 禅宗の影響を受け、畳を敷き詰め、床の間や違棚、ふすま、障子などを設けた書院造が確立され、のちの日本家屋の原型となった。	足利義政の時代に栄えた東山文化では、禅宗の影響を強く受けた簡素で奥深い美しさが尊ばれた。東求堂同仁齋に代表される書院造は、現代の和室に繋がる畳・障子・床の間といった要素を整えた様式である。他の選択肢のうち、大仏様は鎌倉時代、金箔を用いた豪華な様式（金閣など）は北山文化、無常観に基づく文学的背景は鎌倉時代の随筆などの特徴であり、東求堂同仁齋の説明としては適さない。